



## 福井の名所探訪⑭

### くずまんじゅう (小浜市)

若狭のくずは「日本三大くず」のひとつに数えられ、くずまんじゅうは、そのくずを使い、豊かな水と自然の素材を生かした小浜の代表的な名物。良質の水と素朴な材料でつくられるだけに、掘り抜き井戸の水で冷やすと、ひときわ自然の味が引き立っておいしいです。

## 理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

## 基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

## 患者様の権利に関する宣言

- |                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
| ① 最善の医療を平等に受ける権利           | ⑧ 健康教育を受ける権利      |
| ② 選択および自己決定する権利            | ⑨ 個人の尊厳を守る権利      |
| ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利 | ⑩ 宗教的支援を受ける権利     |
| ④ 患者様の意思に反する処置・治療          | ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利 |
| ⑤ 十分な説明を受ける権利              | ⑫ より良い環境で治療を受ける権利 |
| ⑥ 情報開示を求める権利               | ⑬ 通信・面会を自由に行う権利   |
| ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利    | ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利 |



# すこやか講座

認知症の発症の原因となる病気は約70種類といわれており、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症が原因となる三大認知症と言われています。今回は三大認知症のレビー小体型認知症について紹介します。

## 原因

脳の神経細胞にある種々のたんぱく質が固まって「レビー小体」ができ、これが記憶に関係する部分に出現すると認知症を引き起こします。

## 症状

### ● 幻視、誤認

実際には見えないものが本人には見える症状です。見える対象の多くは小動物や人です。また、人形を子どもと見間違ったり、丸めてある洋服を動物と見間違ふことがあります。幻視で怖がったり、焦ったりしている場合は否定せずに話を聞いてあげることが大切です。時には、介護者が見えない相手に立ち向かう演技も有効なことがあります。怖がっていない場合は、幻視を否定することも対応の一つです。身体の不調で幻視が頻繁に表れることがあるので、介護者は幻視のパターンについて把握しておくとういでしょう。見間違いを誘発しないために、部屋や廊下の明るさや影の状態など、室内の環境に配慮する必要があります。

### ● 認知機能の変動

日や時間帯によって頭がはっきりしている状態とぼーっとしている状態が入れ替わり起こります。介護者は、本人がどの状態にあるかを把握し、大切なことは頭のすっきりしているときに伝えるようにすると良いです。

### ● パーキンソン症状

姿勢が前かがみになり歩幅が小さくなります。動作がゆっくりになり、転びやすくなります。つまずいたり、滑ったりしないように環境を整えることが大切です。バランスを保つことが難しくなるため、後ろから声をかけたりしないようにしましょう。

### ● レム睡眠期行動障害

眠りの波が浅くなったときに夢と現実の境にいるような行動をとることがあります。眠っているのに大声を出したり、奇声をあげたり、暴れたりすることがあります。昼間にしっかりと覚醒できるように生活のリズムを整えましょう。

その他 **抑うつ症状、自律神経症状（起立性低血圧、便秘、倦怠感など）** などが見られることがあります。レビー小体型認知症は進行する病気です。普段から規則正しい生活、十分な水分摂取、適度な運動や転倒や誤嚥に注意し、身体機能を低下させないように心がけることが大切です。

# 家族は今…

## まさか母が…

M

母は現在93歳ですが、若い時から仕事をしながら趣味の旅行、ダンス、コーラス、民謡などと、パワフルに毎日を過ごしておりました。特に旅行が大好きで、父が亡くなってからは、国内、海外など一人でも出かけ、その度に友達ができて、年賀状などは100枚位書いておりました。歌うことの好きな母は、年末の第九にも参加して長時間立っていることが無理になる80歳頃まで歌っておりました。

仕事を73歳位で辞めてからは高年大学にも通い、金銭的なことも87歳位まで自分で管理しておりました。又、病院が大好きで、軽い症状でもすぐ自分で病院に行き、健康にも気をつけておりました。このような母でしたので、まさか晩年、認知症になるとは思ってもみませんでした。母の態度がおかしいなと思いはじめたのは87歳を過ぎた頃から、お金がなくなると言い始め、カバンに身の回りの物やトイレトペーパーなどを詰めたり、自分の部屋の電話線を切ったり、せん妄などの症状が出始めたことでした。日時、曜日がわからなくなり、約束事ができなくなるようになって、月1回すこやかシルバー病院に通うようになりました。それでも平成24年の秋頃までは週3回のディサービス、月3～4回のショートスティなどを利用しながら毎日過ごしておりました。平成24年の11月頃、生活環境が変わったこともあって、昼夜がわからなくなり、睡眠不足やせん妄、被害妄想、猜疑心などからお世話になっていた施設の職員さんの言うことも聞かなくなり、すこやかシルバー病院に入院することになりました。お陰さまで、3カ月を過ぎた今では、先生、職員の方々のお陰で穏やかな毎日を送ることができ、家族一同感謝いたしております。戦時中に嫁いできて苦労も多かったと思います。今まで一生懸命生きた母に残された時間は、あとどれ位かわかりません。でも、私達もたどる道です。家族一同、最期まで見守っていきたいと思います。

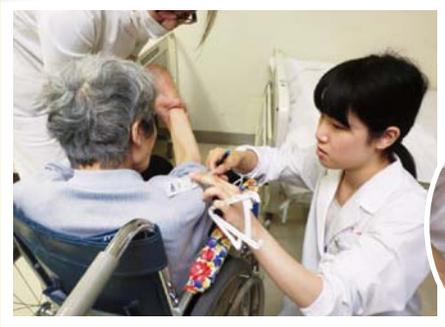


# すこやか探検隊

最新トピックスを  
ご紹介します!

当院では、医療福祉系教育機関等の学生を対象に、教育カリキュラムの一部として認知症高齢者の臨床における生活援助の在り方について実習の受け入れを行っています。

## 管理栄養士 臨床栄養学臨地実習



仁愛大学の4年生の学生3名が、2週間の実習にチャレンジ! 認知症患者の特徴をとらえ、効率の良い栄養管理業務が行えるよう、多方面での学びが多くあったようです。

栄養状態の評価を行うため、患者様の身体計測をさせていただきました。皮膚の感触や計測を行う時の導入の仕方など、戸惑いながらもなんとか計測結果を入手できました。

◀上腕周囲長を計測中

今年の5月より約22日間の実習のため福井県立大学から学生さんを1名受け入れました。

ソーシャルワーカーのたまごがひよこへと成長できるよう患者さんや家族の方からたくさんの温かい言葉かけを頂きました。

★学生さんからのコメント★  
患者さんや家族の方とかかわることで日々の経験的な知識を得ることができています。人とのつながりが大切にたくさんの人の「生活」にかかわらせていただきたいと思います

## 精神保健福祉士 現場実習



## 作業療法士 臨床実習

今年は福井医療短期大学から2名の実習生を受け入れることになりました。患者さんの症状は千差万別で教科書通りではないことに戸惑いながらも、様々な生活活動を通した評価治療を行います。

7週間を貴重な経験として今後活かせるよう指導しております。



# デイケアだより

## 5月 ほお葉飯づくり

毎年恒例のほお葉飯作りを行いました。ほお葉が採れる地域で食べられているという郷土料理で、手際良く作って下さいました。

ほお葉の香りがきな粉やご飯に移り、今年も美味しく出来ました。



きな粉、こんなもんやろか



おいしく出来てるやろか…



## 6月 あじさい見物&和菓子づくり

今年は例年より梅雨入りが遅く、雨量が少なかったこともあり、あじさいを見物しに外出することができました。

暑さの中、足羽山のあじさいは利用者さんの顔と同じくらい大輪の花を咲かせており、見応えがありました。



別の日には、寒天と白あんを使った、和菓子づくりを行いました。男性利用者さんでも出来るほど簡単で、見た目も涼しげな和菓子が出来ました。



満開のあじさいの前で1枚!

### ★材料(各4個分)

【濃い色のあじさい】4個分

◎果汁100%のぶどうジュース…150cc

◎砂糖…小さじ2 ・粉寒天…1g

◎白あん 100g

【薄い色のあじさい】4個分

◎果汁100%のぶどうジュース…50cc

◎砂糖…大さじ1 ・粉寒天…1g

◎白あん…100g ・水…100cc

### ★作り方

薄い色は、水で薄めて好みの色に調節!

1



白あん以外の材料を小鍋に入れて2~3分煮立て、タッパーに厚さ5mm程度に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

2



①が固まったら5mm角のさいの目に切る。ラップに大さじ2杯ほど広げ、4等分に丸めておいた白あんのせる。

3



寒天がつぶれないようにやさしく!

寒天で白あんを包むようにラップで絞る。

4



ラップを外して盛りつけたらできあがり!



# The 病棟



## すこやか祭

4月25日に院内行事であるすこやか祭がありました。独学で学び色々な施設を訪問されている宮崎又彦さんと牧田康秀さんに来て頂き、ハープ演奏会を開催しました。患者様は初めて聴くハープの音色に癒され、「綺麗な音ですね」や「歌もとってもお上手」等の感想を聞くことができ、とても良い笑顔が見られました。

### ★ハープ演奏



### ★長寿者発表

90歳以上の患者様を長寿者として称え、病院から賞状を贈らせて頂きました。賞状には顔写真が貼られており、それを見た患者様はとても嬉しそうでした。



## 看護の日

5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であることから「国際看護師デー」または、「看護の日」と定められており、その日を含む5月8日～5月14日までを「看護週間」といいます。

すこやかシルバー病院では毎年「看護の日」を記念したイベントを行っており、今年も5月10日に看護部による看護展を開催しました。

### ★看護展



外来待合室を利用して、お菓子を食べながら懐かしい品物に触れることで皆さんの楽しい会話や笑顔がたくさん見られました。



# 認知症啓発活動



## 専門職研修 「認知症高齢者ケアの理解」

平成25年6月21日に専門職研修『認知症高齢者ケアの理解』が開催されました。研修では、当院病棟看護師による講義「認知症高齢者ケア」と福井大学医学部附属病院 認知症看護認定看護師中村巳早都さんによる講義「原因疾患別ケア」と事例検討が行われました。研修に参加した方のアンケートでは、「DVD、事例を使っの講義がわかりやすかった」「これからのケアに活かしていきたい」という感想が多く寄せられました。



認知症看護認定看護師による講義「原因疾患別ケア」の様子

次回は10月18日(金)に開催されます

## 専門職研修 「認知症高齢者への作業療法」

平成25年6月28日に専門職研修『認知症高齢者への作業療法』が開催されました。研修では講義、演習を行いました。研修に参加した方のアンケートでは、「今後のレクリエーションの参考にしたい、学んだ内容を取り入れていきたい」という感想が多く寄せられました。



演習の様子



講義の様子



次回は10月25日(金)に開催されます



# 平成25年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

## 一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と介護のポイント *同じ内容の研修を2回開催	9月10日(火)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知症高齢者への介護のポイント	各50名
		3月7日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		
2	認知症に関する制度と相談窓口 *同じ内容の研修を2回開催	9月17日(火)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	各50名
		3月14日(金)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)		
3	認知症を予防しよう! *同じ内容の研修を2回開催	9月24日(火)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症を予防するための基礎知識 ● 心も体も元気に、健康に	各50名
		3月28日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		

## ケア専門職の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	高齢者の世界を体験しよう	10月4日(金)	午前10時00分～午後4時30分 (午前9時30分から受付)	● 高齢者の特徴と合併症 ● 高齢者擬似体験(演習)	50名
2	認知症の理解	10月11日(金)	午前9時40分～午後0時 (午前9時10分から受付)	● 認知症の症状と治療の基礎知識 ● 認知機能検査	50名
3	抗認知症薬の理解	10月11日(金)	午後1時30分～午後4時 (午後1時から受付)	● 抗認知症薬の効果、使用する際の注意点	50名
4	認知症高齢者ケアの理解	10月18日(金)	午前10時30分～午後4時10分 (午前10時から受付)	● 認知症高齢者ケア ● 原因疾患別ケア	50名
5	高齢者に関する制度と医療連携	10月25日(金)	午前10時00分～午後0時10分 (午前9時30分から受付)	● 介護保険制度 ● 医療機関との連携	50名
6	認知症高齢者への作業療法	10月25日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	● 認知症高齢者への作業療法 ● 演習	50名
7	センター方式基礎研修 *2日で1回の研修	7月27日(土) 9月7日(土)	午前10時～午後4時 (午前9時30分から受付)	● 認知症の人を理解するための視点 ● 個別的支援を実践するための方法	40名
8	高齢者への食事援助	9月13日(金)	午前10時～午後3時30分 (午前9時30分から受付)	● 高齢者への食事援助と口腔ケア	50名
9	高齢者への排泄援助とスキンケア	9月20日(金)	午前10時30分～午後3時30分 (午前10時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケア ● 認知症高齢者への排泄援助の実際	50名
10	認知症高齢者ケアにおける倫理	9月27日(金)	午後1時30分～午後4時40分 (午後1時から受付)	● 認知症介護の現場に活かせる倫理	50名
11	認知症高齢者の入浴困難、徘徊、収集に対する援助	10月19日(土)	午前10時～午後0時 (午前9時30分から受付)	● 認知症高齢者の入浴困難、徘徊、収集に対する援助法	100名

## ケア専門職の方を対象にした実習

No.	実習名	開催日	実習時間	定員
12	デイケア実習	11月19日(火)～20日(水) 2日間	実習1日目: 午前9時30分～午後5時(午前9時から受付) 実習2日目: 午前10時～午後5時	5名

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室  
実習場所／福井県立すこやかシルバー病院 認知症デイケア

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部  
TEL(0776) 98-2700